

特定外来生物（植物）について

特定外来生物（植物）とは

特定外来生物（植物）とは、もともとその地域にいなかったのに、人間活動によって、他の地域から持ち込まれた生物（外来生物）のうち、地域の自然環境に大きな影響を与えたり、農作物に被害を与えたりするもので「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により指定された植物のことを言います。栽培などは原則禁止されており、違反すると罰則があります。

村内においても、「アレチウリ」や「オオキンケイギク」、「オオハンゴンソウ」等の特定外来生物（植物）の繁茂が確認されており、特に「オオキンケイギク」と「オオハンゴンソウ」はきれいな黄色い花が咲くため、特定外来種と知らずに移植してしまうといった場合もあります。

特徴と駆除のポイントは、次のとおりです。庭で見かけましたら駆除していただくなど、特定外来生物(植物)の拡大防止にご協力ください。

アレチウリ

北アメリカ原産で、ウリ科の一年生草本です。育成速度が非常に速いつる性植物で、長いものでは10m以上にもなります。

アレチウリは、5月ごろから10月頃まで芽生えの時期があります。花は、8月下旬頃から咲き始め10月まで続きます。9月下旬には果実が熟し始め、種子をつけ、冬には枯れてしまいます。



アレチウリ駆除のポイント

1. 種子をつける前に抜き取る。
2. できるだけ小さいうちに抜き取る。
3. 年に数回抜き取る。（6月中旬、7月下旬、9月上旬など）
4. アレチウリが現れなくなるまで数年間続ける。

オオキンケイギク

北アメリカ（ミシガン～フロリダ、ニューメキシコ）原産で、オオキンケイギクは、キク科の多年生草本です。

オオキンケイギクは、高さは、0.3～0.7m。花期の5月～7月頃に黄色い目立つ花を咲かせます。



オオキンケイギク駆除のポイント

1. 丁寧に抜き取る。
2. 翌年以降も種子の発芽や根茎からの再生がみられなくなるまで継続する。

オオハンゴンソウ

北アメリカ原産で、キク科の多年生草本です。

オオハンゴンソウは、高さ0.5～3m。花期は7月～10月頃で、計10～14枚の花弁は黄色で細長く、やや垂れ下がっています。



オオハンゴンソウ駆除ポイント

1. 丁寧に抜き取る。早い時期（5～7月）に根を引き抜くのが有効で地上部の刈取りだけでは、ほとんど効果が無い。
2. 翌年以降も種子の発芽や根茎からの再生がみられなくなるまで続ける。

注 オオハンゴンソウについては、7月～10月が開花の最盛期であり、非常に強い繁殖力があるため、早めの駆除が必要です。